

第3回江別市行政審議会（第2部会） 会議録（要点筆記）

日 時：平成30年1月9日（火） 9:30～11:50

場 所：江別市民会館 31号室

出席委員：田口智子部会長、奥村昌子委員、田原久美子委員、成田裕之委員
西脇崇晃委員、深瀬禎一委員、三ツ井瑞恵委員、山崎啓太郎委員（計8名）

事務局：北川企画政策部長、福島企画政策部次長
政策推進課中島参事、天明屋主査、山口主事

傍聴者：4名

■開会

○田口部会長

前回の審議会の繰返しにもなりますが、総合計画で定めているのは、市が取り組む基本的な方向性のみですので、具体的な事項はこの審議会ではなく、個別計画の会議での議論に委ねることになりますことをご承知願います。

■議事

■まちづくり政策点検シート担当部局ヒアリング

○田口部会長

本日のヒアリング対象は政策06子育て・教育、政策07生涯学習・文化、政策08協働となっております。まちづくり政策点検シートについて関係部局より説明願います。

【政策06子育て・教育】

【子育て支援課長から施策01子育て環境の充実について説明】

【質疑】

○成田委員

2ページ Check の欄で「就学してからの放課後児童会・児童クラブなどの保育サービスが不十分」の回答割合が初期値31.5%から46.9%と大きく上昇しておりますが、この要因は待機児童の増加に伴うものでしょうか。それとも、それ以外の要因があるのでしょうか。

もう1点、4ページ（4）学齢期児童への支援の展開項目の欄で、地域の人たちとの交流等の放課後活動を推進しますと記載されていますが、Do ではそれに関する取組が記載されておられません。今までにどのような取組を行ってきたのでしょうか。また、交流等の形とありますが、学校教育では出来ない教育をこの部分で行うことは考えているのでしょうか。

○子育て支援課長

「保育サービスが不十分」との回答が増加している要因についてですが、放課後児童クラブの定員数は、保育の定員数に比べて大きく伸びているわけではありません。

現在、保育のニーズが高まっており、保護者の不安が数字となって表れているのではないかと考えております。

また、放課後児童クラブは、児童が学校帰りに直接向かう場所であるため、自宅・学校・クラブの位置関係などの要因も反映してくるものと思われまます。

さらに、クラブ運営主体の違いにより、利用料の差なども生じているため、これについても課題であると認識しております。

放課後児童クラブの内容ですが、生活の場として児童の預かりとしており、地域活動を行っている方を招いて遊びの場を設ける、高学年などは屋外活動としてクラブ外に出て体験活動を行うなど、様々な工夫を凝らして活動を行っております。現時点で放課後児童クラブに対する保護者のニーズも求められているので、充実させていきたいと考えています。

○三ツ井委員

4 ページ展開項目の欄で「切れ目のない支援」という文言が2か所に記載されており、具体的には、2 ページ Act で示されている「子育て世代包括支援センター」などが今後江別市にできるためと解釈しましたがよろしいでしょうか。

○子育て支援課長

子育て世代包括支援センターは、法律上で努力義務とされておりますが、江別市でも開設に向けて検討を始めております。実際の開設時期などは今後の検討となりますが、法改正などを受け「切れ目のない支援」と記載しました。

○奥村委員

私自身、平成26年度、27年度に「ぽこあぽこ」において2か月に1度子どもの食事に関する話をさせていただいており、食育についての相談ニーズが高いことを実感しています。

母子保健の充実と合わせて、地域子育て支援の充実の中で、母子保健の相談場所や内容等の充実を要望したいと思います。

○田口部会長

この要望については、検討していただくということによろしいでしょうか。

○子育て支援室長

展開項目の中で、どのような形で表現できるかは別ですが、指摘された取組内容は重要だと考えておりますので、展開項目の中の具体的施策を含めて、検討したいと思います。

○田口部会長

他にご意見・ご質問はございませんか。

【質疑】

なし

【学校教育課長から施策02子どもの教育の充実について説明】

【質疑】

○山崎（啓）委員

5 ページ Do（4）教育環境の充実の欄で、PTA会費と生徒会費を支給項目に追加と記

載がありますが、「おやじの会」への支援として今後予定しているものはあるのでしょうか。

○学校教育課長

P T A会費や生徒会費の支給は、就学援助を受けている世帯に対し、新たに支給項目として追加したものであります。

おやじの会については、各学校で組織されており、活動は各学校のP T A会費の中で取組を行っている状態です。

江別市では、全ての小中学校でコミュニティスクールを整備し、今年度から開始しておりますので、コミュニティスクールの充実の中で、各学校で対応などをしていければと考えております。

○深瀬委員

2 ページ参考指標の欄で、「生きる力」が身についた児童・生徒の割合と記載があります。生きる力をどう評価するかは難しい問題だと思いますが、これは誰の評価なのでしょうか。

○学校教育課長

「生きる力」が身についた児童・生徒の割合につきましては、江別市教育委員会内に教育研究所という組織があり、そちらで毎年児童・生徒を対象にアンケート調査を実施しております。アンケートの内容として、「学校の決まりを守っていますか」、「授業で習ったことを普段の生活と結びつけて考えていますか」、「目標に向かって普段からコツコツ学習していますか」、「筋道を立てて物事を考えることが出来ますか」など8項目の結果を集計し、その割合を総合的に判断して、「生きる力」が身についた児童・生徒の割合という形で算出しております。

○田口部会長

この集計結果は公表されているのでしょうか。

○学校教育課長

ホームページに掲載しております。

○奥村委員

5 ページ Do (1) 教育内容の充実の欄で、小学校全学年で外国語活動を実施と記載がありますが、文部科学省のカリキュラムに合わせての対策でしょうか。それとも江別市独自のグローバル人材の育成などに合わせた取組でしょうか。

○学校教育課長

外国語教育は江別市の場合、1年生から4年生までは江別市独自の英語活動という取組を行い、5、6年生は平成29年度の国の学習指導要領上で定められた外国語活動という取組となります。

江別市内全小学校全ての学年で実施していることは、江別市独自のアピールポイントとしております。

○奥村委員

外国語は英語のみでしょうか。

○学校教育課長

英語のみとしております。

○三ツ井委員

「青少年」という言葉は、一般的に12歳から25歳くらいまでという意味で使われており、5ページ Plan（5）心のケアの充実の欄に、青少年や保護者が悩みを相談する場を充実と記載されております。内容を見ると小中学校に対する取組などは具体的に記載されておりますが、高校生や大学生などに対して行っている取組はあるのでしょうか。

○学校教育課長

教育委員会で所管している内容が学校教育であり、小中学生が対象であるため、高校生以上については、教育部では対応しておりません。

○三ツ井委員

高校生以上の方の対応はどちらで行っているのでしょうか。

○学校教育課長

市としては、子育て支援の取組の中で18歳まで対応していく形となります。

○三ツ井委員

子が高校生以上になった場合でも、保護者の悩みはあると思います。心のケアの充実、悩みを相談する場と記載はありますが、具体的にどこに相談したら良いか分からないので、教えていただきたいと思います。

○子育て支援課長

子育て支援では、家庭相談部門があり、高校生の子どもに関する問題や悩み等の相談を承っています。場合によっては、他機関との連携しながら、個別検討を行っています。

○西脇委員

心のケアの充実の中では、いじめが深刻な問題だと思います。

江別市でいじめに絞ったデータや指標などがあれば教えていただきたいと思います。

○教育支援課長

いじめに関しては、毎年学校でアンケート調査を実施しており、不登校も含まれる相談件数ではありますが、平成26年度実績42件、平成27年度実績40件、平成28年度実績37件という状況となっております。

○田口部会長

他にご意見・ご質問はございませんか。

【質疑】

なし

【政策07生涯学習・文化】

【生涯学習課長から施策01生涯学習の充実について説明】

【質疑】

○山崎（啓）委員

1ページ Do（2）生涯学習支援体制の推進の欄で、生涯学習推進協議会ホームページの

リニューアルと記載がありますが、閲覧数はどのくらいありますか。

○生涯学習課長

平成28年度に導入して、平成28年度は閲覧数の計測は行っておりませんでした。平成29年度当初より閲覧数を意識し、ホームページのトップ画面に表示しております。

○山崎（啓）委員

先程と関連した内容の提案ですが、ホームページは高齢者の方も多く閲覧すると思いますので、次回リニューアルの際には、スマートフォンに対応された形の方が良いと思います。

○田口部会長

この件については、検討をお願いします。

○生涯学習課長

了。

○田原委員

2ページ Act の環境変化（2）の欄に、市内の社会教育関係団体と記載がありますが、これは生涯学習推進協議会のことを指すのでしょうか。

○生涯学習課長

社会教育関係団体は、社会教育推進協議会、女性団体協議会、自治会連合会などが含まれております。

○田原委員

その担い手不足とは、どこの部分を指しているのでしょうか。

○生涯学習課長

構成している加盟団体が年々減少しておりますので、その説明も加えさせていただきます。

○田原委員

推進協議会は、発行されている「ら・ら・ら」の内容も充実しているので、活動内容は向上していると思っておりました。

○成田委員

田原委員の質問に関して提案ですが、事務局の担い手不足や高齢化の影響で活動が縮小しているというのはどの団体も同じだと思います。生涯学習推進協議会や社会福祉協議会、市民活動センターなどの情報を共有し、情報発信やイベントを合同で行うなど、負担をなくしていく形で連携していく方法を取ることは出来ないでしょうか。

○生涯学習課長

生涯学習という分野は、幅広い活動を対象としております。個別の施策、担当の中で重複しがちな部分も多々あることは確認出来ておりますので、効率性を求める見方も必要かと思っております。

○田口部会長

他にご意見・ご質問はございませんか。

【質疑】

なし

【生涯学習課長から施策02ふるさと意識の醸成と地域文化の創造について説明】

【事務局から施策02ふるさと意識の醸成と地域文化の創造について説明】

【質疑】

○田原委員

5 ページ Check の欄で、EBRI の来場者数が 43 万人と記載がありますが、報道では入込客数が 20 万 5 千人となっており、この大きな差はどうなっているのでしょうか。

○商工労働課参事（商店街・観光振興）

入込客数は、市外から来られた方を指しております。

平成 28 年度全体の来場者数 43 万人のうち、市外から来られた入込客数が 20 万 5 千人、残りは市内の方となります。

○田原委員

その市内・市外はどのような形で分けているのですか。

○商工労働課参事（商店街・観光振興）

EBRI 内にアンテナショップ GET'S があり、レジで精算をする際に市内・市外・道外のいずれかを回答してもらい、その統計を取っております。

○田原委員

今年度上期で 7 万 8 千人という数字が報告されましたが、これは市外の人数になりますか。

○商工労働課参事（商店街・観光振興）

7 万 8 千人は、市外からの人数となっております。

○田原委員

今年度の全体数として昨年度と比較すると、そこまで減少してはいないのでしょうか。

○商工労働課参事（商店街・観光振興）

平成 28 年 3 月にオープンし、1 年目はオープン効果で数字が高くなっており、現在 1 年 9 ヶ月経って減少傾向ではありますが、2 年目の数字を減らさないよう、工夫していきたいと思っております。

○深瀬委員

7 ページ Do (1) 文化・芸術活動の育成・支援の欄には、えべつ楽友協会などの活動は記載しないのでしょうか。

もう 1 点、同じく 7 ページ Do (2) 文化・歴史遺産の保存と次世代への継承には、郷土資料館で行っている遺跡見学やウォーキングマップなどのバス研修は記載しないのでしょうか。

江別市でこのような活動を行っている」と記載した方が良いのではないのでしょうか。

○生涯学習課長

深瀬委員の指摘のとおり、えべつ楽友協会などにも支援を行い、大きくマスコミで取り上げられておりますが、その他様々な音楽振興関係団体、広く公演を行っている文化・芸術に寄与している市民団体についても支援する取組を行っているため、個別に記載するわけにはいかない部分があります。

○郷土資料館長

バス研修などのご質問についてですが、郷土資料館で行っている事業は、7ページ Do(2) 文化・歴史遺産の保存と次世代への継承の欄で、体験型事業等を通じて学習を支援すると記載しておりますが、個々の内容については、記載しておりません。

○山崎(啓)委員

市外の人から江別市内にれんがの施設・建物は多いのかという意見を聞きます。

4ページ Do(3) れんがの保存と活用について提案なのですが、例えば、住宅支援として新規で住宅を建てる方にれんがのプレゼント等を行うと、市内にれんがの街並みが広がり、アピール出来る施策になると思います。

○田口部会長

1点確認ですが、EBRIの来場者数は、観光客も含めて43万人ということでしたが、時期的にえべつやきもの市など江別市内のイベントや企画と連動した際にEBRIの来場者が増加したのでしょうか。

○商工労働課参事(商店街・観光振興)

月別に集計している数字ですが、平成29年4月は他の月に比べて少ない時もあり、その中でやきもの市などと連動させていく取組も必要になると思いますが、担当としてはEBRIだけではなく、市内の入込客数を増やす必要があると認識しています。

○西脇委員

7ページ Do 文化・歴史遺産の保存と次世代への継承についての欄で、次世代にふるさと意識を醸成させるために、現在、小中学校で具体的に行っている取組はあるのでしょうか。

○郷土資料館長

郷土資料館での活動ですが、市内小中学校へ出向き、矢じりや土器などを直接生徒に触れてもらいながら昔の江別の様子などの話をしております。

さらに、郷土資料館の取組で、子ども学芸員カレッジとして年間20人ほど募集を行い、10回シリーズで江別の歴史、過去の土地の状態、学芸員の基礎仕事を学んでいただいております。

○西脇委員

素晴らしい取組を行っているので、次世代というキーワードに関連して、Doの現在までの取組に記載があれば良いと思います。

○三ツ井委員

先日、情報図書館で、ぬいぐるみのおとまり会という今までになかった企画が開催されており、芸術・文化という敷居が高く感じますが、そのような内容は親しみやすく、芸術・文化・図書館などと触れ合える機会が出来るので、素晴らしい活動だと思いました。

今後も、芸術や文化を広める活動を行ってほしいと思います。

○田口部会長

他にご意見・ご質問はございませんか。

【質疑】

なし

【スポーツ課長から施策03市民スポーツ活動の充実について説明】

【質疑】

○成田委員

10ページ Plan (2) スポーツ・レクリエーション活動の育成・支援の欄で、指導者の養成を推進と記載がありますが、学校の部活動などに対して、教職員に変わり民間の指導者を派遣することは考えているのでしょうか。

○スポーツ課長

新聞などでも教職員の働き方改革、部活動の見直しについて掲載している記事がありますが、学校教育担当と連携しながら検討していきたいと思えます。

○奥村委員

スポーツ・レクリエーションの推進の側面として、休息やリラクゼーションの意識は健康づくりの一つとして重要だと思えます。今後、その部分についても検討することで、健康をつくる事が出来ると思えます。

○スポーツ課長

現在、健康福祉部と連携しながら、新しいスポーツ推進計画の策定を検討している段階です。この内容も盛り込めるかも含めて、協議したいと思えます。

○田原委員

11ページ後期に向けての課題の欄で、青年センターのプール・研修棟と体育館棟の築年数が記載されていますが、かなり年数が経っており、時折、屋根や壁の改修を行っているのを見かけますが、具体的にいつ改修を行うかという見通しは立っているのでしょうか。

○スポーツ課長

現在、具体的にはいつ改修を行うか見通しは立っておりませんが、こちらについては、青年センターを含めた市内全体の将来的なあり方を、スポーツ推進審議会を通して話し合っている段階です。

体育協会の加盟団体やスポーツ少年団などに対し、アンケート調査を実施しており、平成29年度中に意向をまとめる形と考えております。

○田口部会長

他にご意見・ご質問はございませんか。

【質疑】

なし

【政策08協働】

【市民生活課参事（市民協働）から施策01協働のまちづくりの推進について説明】

【企画課長から施策01協働のまちづくりの推進について説明】

【事務局から施策01協働のまちづくりの推進について説明】

【質疑】

○深瀬委員

蒼樹大学に参加した際、江別市自治基本条例については、あまり認知されていませんでした。広報誌にも記載されていましたが、記事を読んでいない方が多くいるため、周知の徹底を検討してほしいと思います。

○市民生活課参事（市民協働）

江別市自治基本条例の認知度については、これまでも様々な意見をいただいております。数値としては厳しい状況が続いております。

昨年1年間をかけ、田口部会長や深瀬委員に協力をいただきながら江別市自治基本条例の検討作業を行い、提言をまとめていただきました。

今年度、提言後1年目の新たな取組として、北翔大学の地域講座で啓発や、教育委員会と連携して蒼樹大学の約100人の受講生の前で紹介させていただきましたほか、広報えべつ9月号に特集記事を掲載しました。

特に、20～30代の若年層の認知度が低いことに注目し、市内大学生に3回ワークショップを行っていただき、作成したパンフレットを成人の日に配付しております。また、作成したパンフレットにつきましては、市内大学のほか、若い世代以外にも見ていただけるような場所に配置予定です。

新たな取組を行っていますが、厳しい意見もいただき、これで良いということはないと思っておりますので、様々な手段を活用しながら認知度を上げていけるよう、努力していきます。

○三ツ井委員

大学連携などのまちづくりの政策が、その年代が抱える問題などを社会の中で解決していく手段だと思っておりますので、今後の活動に期待しております。

○奥村委員

7ページ Do（3）コミュニティ活動の推進と相互連動の欄で、自治会活動での女性の活躍を支援するため、女性対象セミナーを開催したと記載がありますが、その背景と、今後の展望があれば教えていただきたいと思っております。

○市民生活課長

女性対象セミナーは、自治会役員の担い手の育成、自治会活動の活性化を目的としており、自治会がこれまでとは異なる価値観やニーズに対応していくため、活動のあり方も検討していく必要があります。

また、自治会の運営では、役員の高齢化や担い手不足という課題があり、自治会を運営するにあたり、多様な方法や考え方が求められております。これまでは男性の役員が多かった

のですが、女性の意見を反映させる必要があることから、このような取組が始まりました。

平成27年より、女性役員からどういった部分で女性が自治会に加わるかなど現状の意見交換を行い、自治会を担う女性を対象にしたセミナーを開催し、問題点などの意見を出し合っております。

今後は、自治会連絡協議会にて、女性、あるいは今までに役員を行っていない方に関わってもらえるかを、女性、男性、両方の意見交換を行い、自治会の活性化を目指していきます。

○田口部会長

人材育成は重要な問題であり、その中のインターンシップも教育として重要な位置づけとなります。

しかし、本来の教育現場のニーズに即しているかというと、江別市に限らず他方面でも様々な課題が山積しております。特に、高校や短期大学においては、キャリア教育のニーズに即しているか問題があります。

今後、教育機関と行政が連携し、経済界などの連動を受け、本当の意味でのニーズに即した人材育成とは何かを、長期的に検討していただきたいと思います。

他にご意見・ご質問はございませんか。

【質疑】

なし

【秘書課長から施策02国際交流の推進について説明】

【事務局から施策02国際交流の推進について説明】

【質疑】

○深瀬委員

以前アンテナショップがありました。EBRIがオープンしてから、姉妹都市であるグレシャム市のブースが縮小されたのではないのでしょうか。

○秘書課長

以前はグレシャム市と江別市のアンテナショップとして行っており、厚意で土佐市の商品も一部販売しておりました。

EBRIの店舗は、GET'Sという名前から分かるように、グレシャム市、江別市、土佐市の頭文字を取っており、3つのまち全てのアンテナショップとなっています。

関税や輸出入の関係もあり、グレシャム市の商品は土佐市ほど簡単に入手できなく、最近では土佐市の商品割合が多くなってはおりますが、グレシャム市の商品も多く店頭に置きたいと思っております。

実質店舗を管理している方もグレシャム市を訪問しており、商品も含めて少しずつ状況が変わってくるということを経済部と協議をしております。

○田原委員

毎年、グレシャム市との交流として、高校生を派遣しているのを新聞などで目にしますが、高校生は帰国後にどのような活動をされているのでしょうか。

また、江別市は独自に小学1年生から4年生まで英語教育を行っているという説明がありましたが、そういう子どもの異国文化の参考となりますので、高校生の目を通して感じたことを広げていくため、何かつながりが出来ると良いと思います。

○秘書課長

グresham市と交流をした高校生については、これまで江別市からグresham市に行った人数が86名、グresham市から江別市に来た人数が57名となり、昭和53年から引き続き行っている事業です。

学校ごとに校内で発表会を行っておりますが、田原委員の指摘どおり、小学校などに出向いて発表する場はありませんでした。

ただし、募集要項では、帰国後、市内の国際交流イベントなどに積極的に参加することという条件があり、内諾を得た上での派遣となっております。高校生が小学校に行き授業を行うことは難しいとは思いますが、田原委員の意見を参考にし、国際交流センターなどで発表してもらうことなどを検討したいと思います。

○奥村委員

意見なのですが、15ページ後期に向けての課題の欄で、ワールドカップラグビー、東京オリンピック・パラリンピック合宿誘致推進と記載がありますが、世界に情報発信を行う良い機会ですので、強く推進してほしいと思います。

○田口部会長

同じく15ページ後期に向けての課題の欄で、企業が受入する外国人研修生の増加と記載があります。労働の法律などは各国で違うと思いますが、法律上の問題などはどういった現状がありますか。

○秘書課長

研修生とは、国際交流団体に加盟している企業に勤めている研修生なのですが、法律が変わり、研修期間を3年間から5年間に延ばすことができる一方、受入れた研修生に日本語や日本の文化を教える義務が課せられており、企業・市・文京台自治会の3つが協働して日本語教室を開催した経緯があります。

現在は中国やベトナムの方が一緒に日本語教室を行っており、法律上問題はありません。

○田口部会長

他にご意見・ご質問はございませんか。

【質疑】

なし

○田口部会長

以上で本日の審議会を終了させていただきますが、取組の基本方針について大きな修正等はないということよろしいでしょうか。

○委員

了。

■次回の審議会について

■その他

○田口部会長

本日関係部局の入替の際に、田原委員から06子育て・教育の5ページDo(1)教育内容の充実の欄で、江別第一小学校に通級指導教室を開設と記載がありますが、通級指導教室とは何かという質問がありましたので、次回の審議会の際に資料提出していただきたいと思ひます。

○田原委員

もう1点あるのですが、Doは4年間で新たに行つた活動のみが記載されていると解釈しておりました。

先程と同じく06子育て・教育の5ページDo(4)教育環境の充実の欄で、新たにPTA会費と生徒会費を支給項目に追加と記載があるのですが、以前からの継続で、公立高校・私立高校の奨学資金制度などの支援を記載した方がよいのではないのでしょうか。

○田口部会長

関係部局を通じて、検討させていただくことになると思ひます。

○事務局

実際にそのような取組を行っていると思ひますが、資料にはそこまでの記載がなかったので、記載があつた方がよいとの提案として承ります。

■閉会